GPUによるOpenFOAM流体計算の高速化

清水建設(株) 技術研究所 PHAM VAN PHUC (ファム バン フック)



内容

- GPUの概要
 - ■性能
 - 課題
- OpenFOAM流体計算のGPU化
 - 解析ソルバのGPU化
 - 運動・圧力方程式のGPU化
 - ※GPUの詳細なチューニング等を省略

GPUハードウェア

■ GPU:

- 英名: Graphic Processing Unit
 - コンピュータの画像処理を担当する主要な部品のひとつ (1999年~誕生)
- 主な利用先:















ゲーム

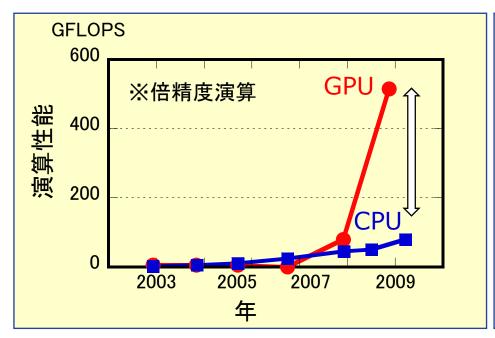
3Dステレオ

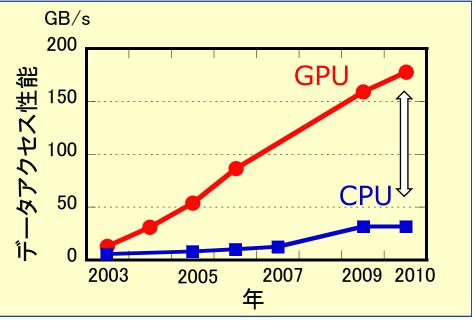
映像処理

画像処理

科学計算 (2007年: CUDA言語)

GPUの基本性能





- 搭載のメモリ容量
 - メモリ容量:少ない。
 - → 2009年・C1060(4CB)・2010年・C2070(6CB)・2012年2:? (12GB) **大規模計算にも対応になってくる**。
- GPU間の通信万法
 - CPU経由通信: CPU上の不要なオーバーヘッドが発生
 - → GPU間の直接通信(Cuda4.0: GPUDirect対応)

HPC分野の変貌

■ GPUスーパーコンピューター(2010)

■ 中国の「天河一号」 (78%)

■ 中国の「Nebulae(星雲)」 (80%)

■ 東工大の「TSUBAME2.0」 (91%)

■ GPUのHPC

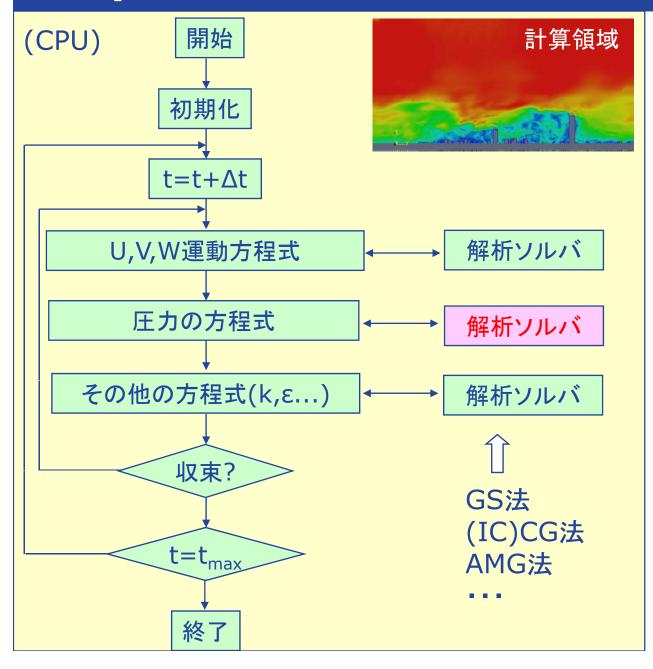


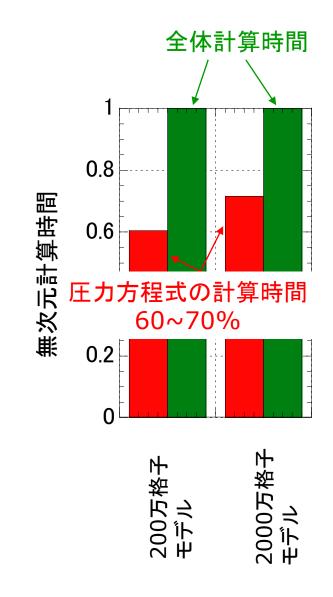
GPUはHPCハードウェアの基盤のひとつである

研究開発の狙い

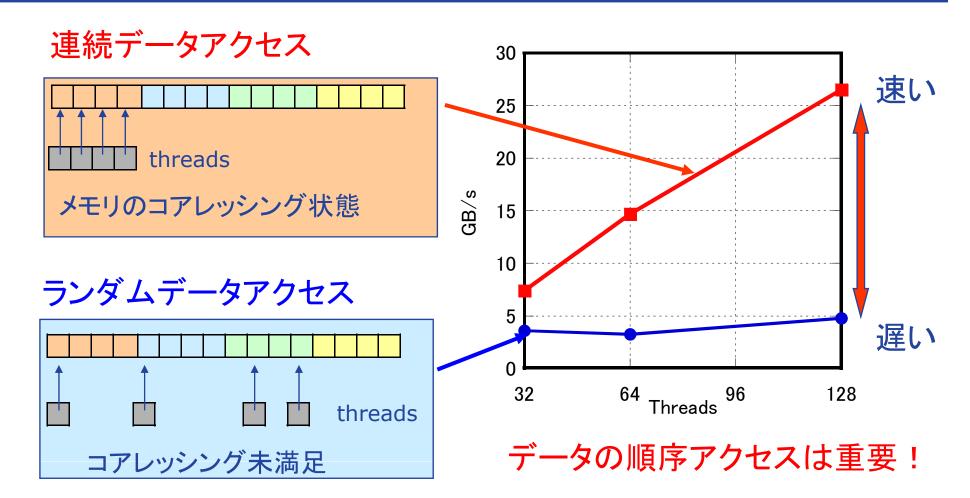
- GPU用流体計算コードの構築。
 - ■問題対象の限定
 - 計算格子の工夫などでGPUの性能を発揮
- 対象計算コード
 - OpenFOAMコード
 - C++言語 → CUDA言語に移植しやすい
 - OpenFOAMコードの優位性を活用

OpenFOAM・流体計算コードの概要





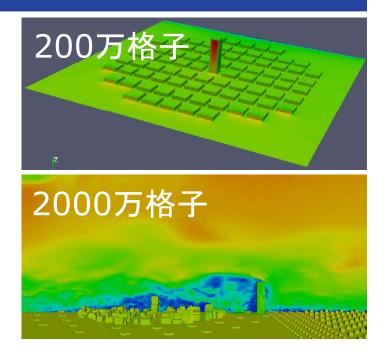
GPU化の基本的な考え方



GPUの前処理、OpenFOAMデータ構造を並べ替える

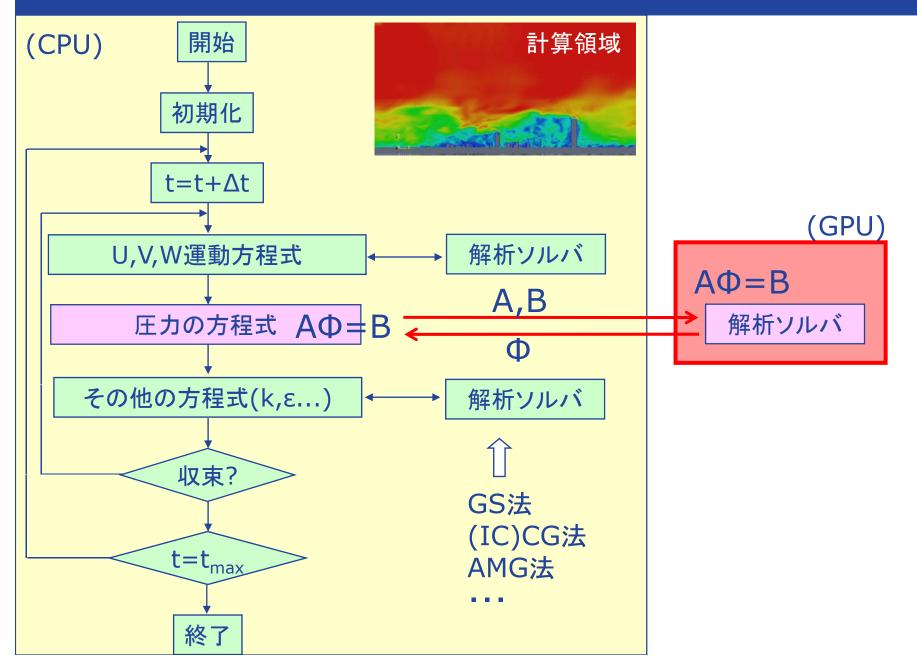
OpenFOAM流体計算のGPU化

- 解析ソルバのGPU化
 - GS法、CG法、AMG法 ※SpeedIT GPUソルバ (CG,BiCGStab)を使用しない。



- 運動・圧力方程式のGPU化
 - icoFoamコード

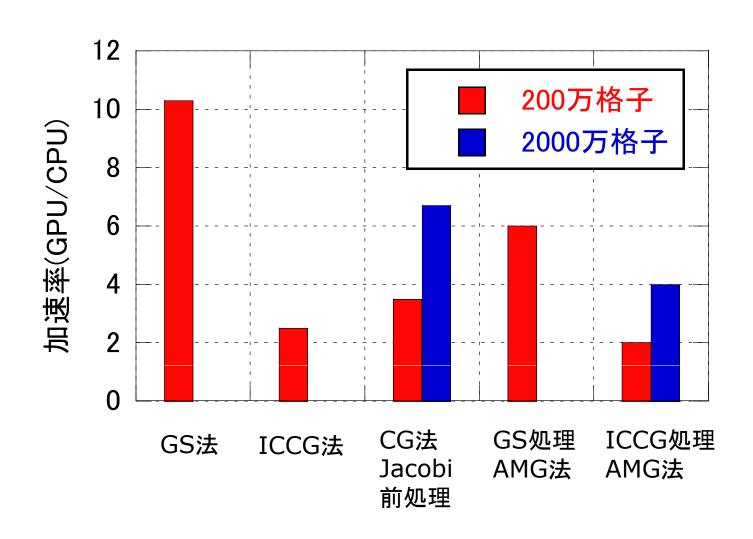
解析ソルバのGPU化



単GPUによる解析ソルバの加速率

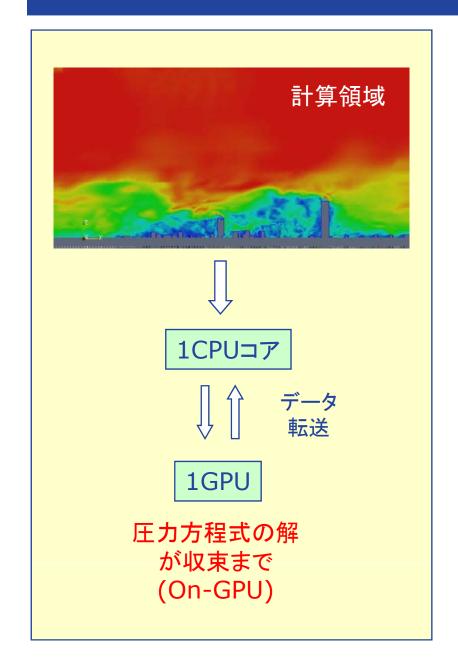
CPU: Intel Xeon(3.33Hz)

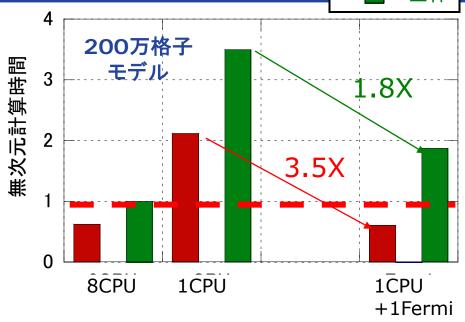
GPU: Nvidia C1060

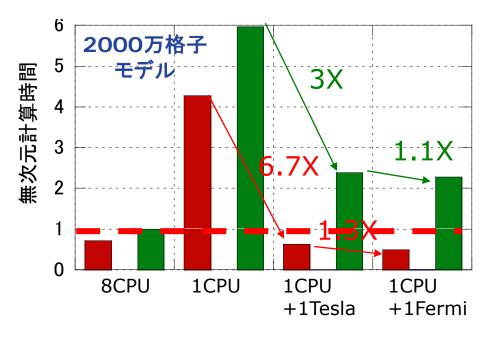


単GPUによる流体計算の高速化





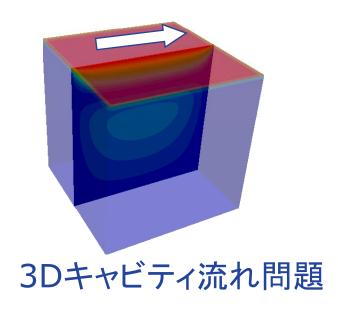




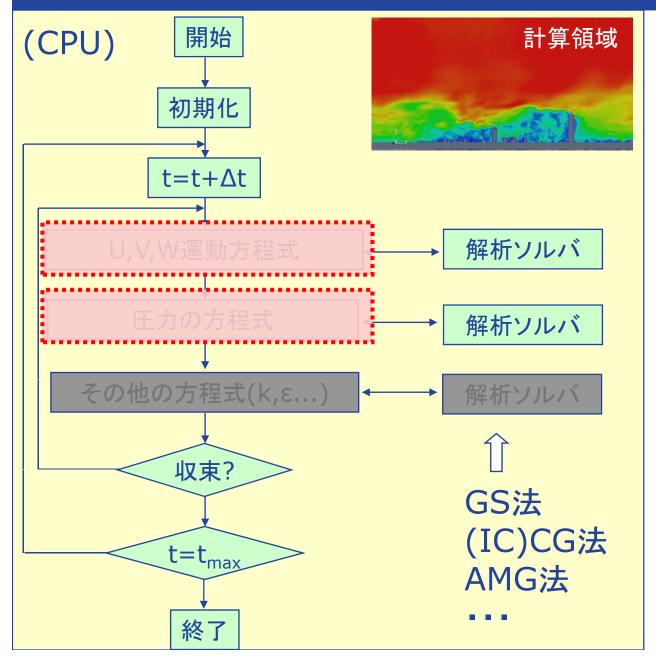
OpenFOAM流体計算のGPU化

- 解析ソルバのGPU化
 - GS法、CG法、AMG法 ※SpeedIT GPUソルバ (CG,BiCGStab)を使用しない。

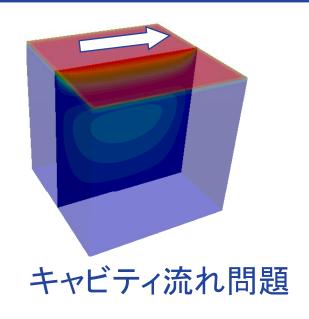
- 運動・圧力方程式のGPU化
 - icoFoamコード



OpenFOAMのGPU化



計算格子とその非構造性



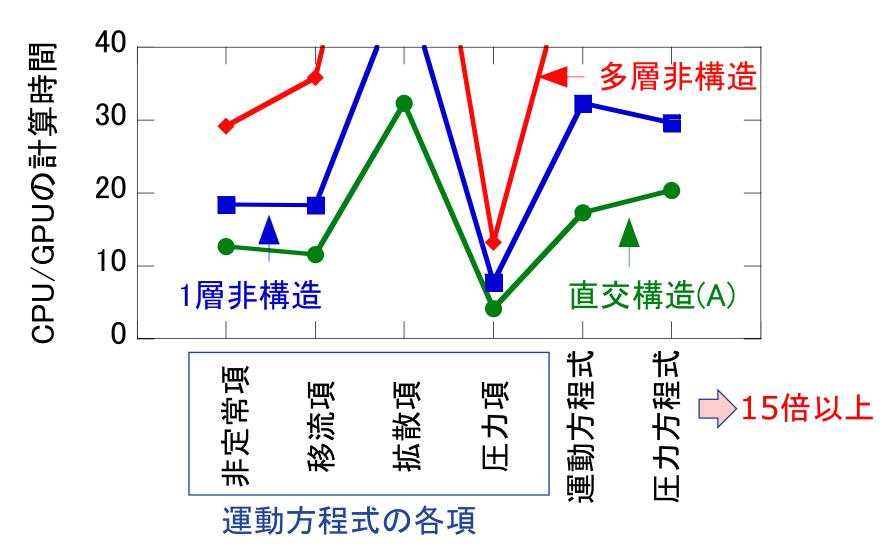
(32,768 cells) 直交構造(A) 多層非構造 1層非構造 (52,928 cells) (48,896 cells)

SnappyHexMesh 非構造格子(?)

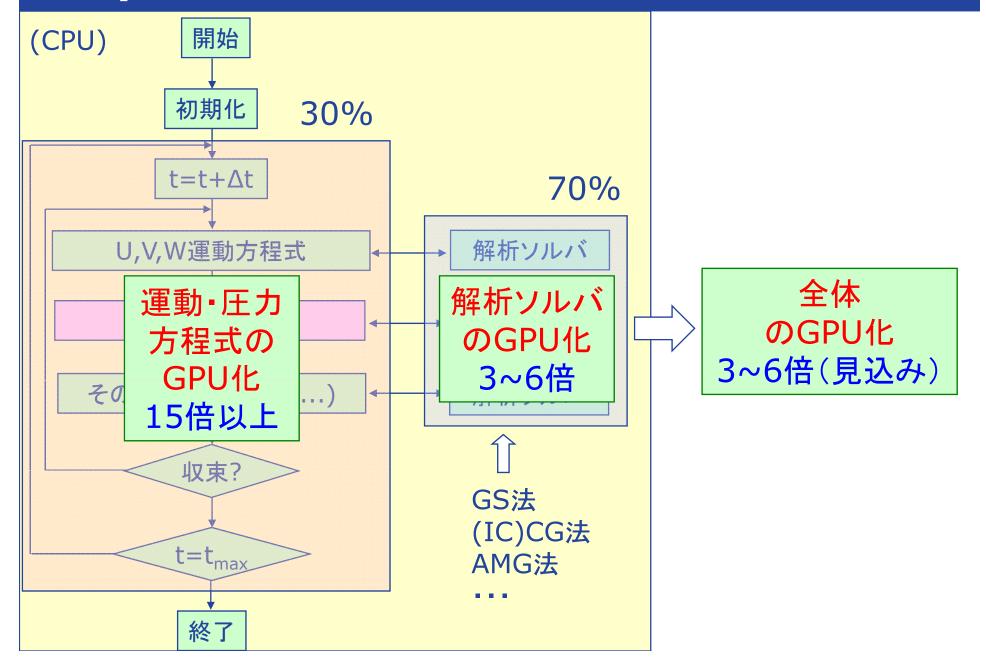
GPUによる運動・圧力方程式の高速化

CPU: Intel Xeon(2.96Hz)

GPU: Nvidia C2050



OpenFOAMの単GPU化のまとめ



ご清聴ありがとうございました。